

安全だより No.4

宮代町シルバー人材センター
2023年(令和5年)10月吉日
安全適正就業委員会

ようやく酷暑が収まり、会員の皆様が活動しやすい季節になりほっとしています。日本近海の海水温の異常高温が今後も続き、かつ世界人口の増加により経済活動が活発化するので、来年以降の気温上昇はまだまだ続く恐れがあります。その環境の中で我々シルバー会員もいろいろ対策を考えなくてはならない状況にあります。

コロナも終息とはならず、ただ分類が2類から5類に代っただけですので、これまでの様に「感染しない」「感染させない」の意識を持ち続けてください。

今年度の宮代町シルバー人材センターでの事故は現在まで「1件」(10月13日草刈りチームによるガラス破損)です。昨年9件からは大幅に削減しています。

さて、全国状況をみると、まだまだ重大事故が多発しております。皆様にはこの事例を教訓として、当センターの「事故ゼロ」に向け継続した取り組みをお願いします。

8月は5名の死亡事故がありました！(全シ協「安全就業ニュース」引用)

※全シ協：全国シルバー人材センター事業協会(全国1,340シルバーの連合本部)

8月までの累計で比較してみると、令和4年の8件と比して令和5年度は13件と5件の増加となっています。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では令和4年度の7件と比較して2件の増加となっており、就業途上については、令和4年度の1件と比較して3件の増加となっています。()内は8月発生分

令和5年度累計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				令和4年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	9(5)	6(5)	3(0)	8(4)	1(1)	就業中	7	5	2	5	2	
就業途上	4(0)	3(0)	1(0)	2(0)	2(0)	就業途上	1	0	1	1	0	
計	13(5)	9(5)	4(0)	10(4)	3(1)	計	8	5	3	6	2	

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
9	男 73 歳	就業中 (死亡)	構内で通い箱を清掃し、台車で指定場所に運搬し整理する業務を行っていたが作業中に後退してきたフォークリフトが衝突し、後ろ向きに転倒し頭部を強打した。着用していたヘルメットは外れて飛ばされていた。	○	—	—
10	男 74 歳	就業中 (死亡)	施設内の階段踊り場において、就業中、会員が倒れているのを施設職員が発見。頭部及び顔面打撲痕から、転倒が死因との疑い。脳幹部出血にて死亡した。	—	—	—
11	男 79 歳	就業中 (死亡)	屋根の塗装作業で1段目から過って1.8m下の地面に頭を強打した。 休憩前まではヘルメットを着用していたが、落ちた時ははしていなかった。	×	×	—
12	男 79 歳	就業中 (死亡)	5名で草刈作業中、ツツジの根元からスズメバチの大群が飛び立ち当該会員の左手甲を刺した。持参していた「蜂撃退スプレーを噴射したが、大群であったため、一旦避難した。救急車を呼ぼうとしたが、 <u>何回も刺されているから大丈夫</u> ということで見守ったが、10分ほどたってから顔色が悪くなり救急車を呼んだがアナフィラキシーショックで死亡した。	○	—	—

「何回も指されているから大丈夫」は誤解です。過去に刺されて免疫が出来るわけではなく、むしろ、刺された回数が多いほど蜂毒による過剰反応が強くなる恐れがあります。素人判断はしないように！！ 猛暑が過ぎて涼しくなってきたら要注意！



13	女 76 歳	就業中 (死亡)	清掃作業中、階段を踏み外したらしく、頭部から出血。脳内出血のため緊急手術をしたが出血多量で死亡した。		—	—	—
----	--------------	-------------	--	--	---	---	---

今月の事故は、休憩中であったため保護帽（ヘルメット）を被っていなかったこと、墜落制止用器具（安全帯）を装着していなかったことで起きてしまいました。

どんなときも、特に地上から少しでも離れる就業の場合は必ず保護帽（ヘルメット）を被るのは、必須です。また、脚立・足場板を使用する場合は、墜落制止用器具（安全帯）の装着も必須です。

安全対策は自分を知る事から

シルバーでの重篤事故は「経験10年以上」「75歳以上の男性」「技能職（植木剪定など）」のベテランと言われる人に多いとの分析があります。「気持ちは40代、身体は70代」このギャップ、あなたは気がついてますか？

通勤途上の事故も要注意！

8月までに3名死亡1名入院の事故発生（自転車の事故が目立ちます）

○ 自転車保険には加入していますか？

自転車も道路交通法上の「車両」です。自転車による人身事故で9,000万円請求された事例があります。現在、自転車保険加入は法律で義務づけられています。

シルバー保険では通勤途上の事故は保険対象となりますが、通勤経路以外の事故は対象になりません。「自転車保険」に加入すれば、通勤途上の事故であれば、「シルバー保険」「自転車保険」の両方から補償されます。

○ 自転車事故から身を守るためヘルメットを着用しよう

【安全パトロールの報告】



安全適正就業委員会では、会員の作業現場（草刈り・剪定）を訪れ、視察・点検しました。これは事故リスクの把握が目的で、会員が就業中に気づいた点、それに対する意見や要望を直接聞きました。会員からは作業効率アップのために装備の充実を求める声や安全対策の向上への要望が上がりました。委員会では今後、これらに対して検討を加え改善策を探っていきます。

当センター事故は2020年に6件、21年には15件に急増し、22年は10件とやや減ったものの、まだ二けたが続いています。この3年間の内容を見ると草刈り時などでの物損事故が多く賠償が発生しています。特に22年は10件中8件が賠償事案で、全案件に占める割合が高まっています。そのため保険料が大幅に増えました。ただし人身事故にいたった例はなかったことが多少なりとも救いとなりました。

パトロールで今回訪れたのは草刈り作業と植木作業を行うそれぞれ2か所の現場。会員が作業中に気づいた点として①落ち葉などの回収のための熊手による作業は効率が悪い②道路わき除草作業時の交通安全対策が心配③チェーンソー講習を受けたいが費用が高く場所が遠い④三脚の固定チェーンが短くロープで延長すると危険——などがあがりました。

これに対して事務局では①ブロアーを購入し常備する②交通安全標識ベストを購入し常備する③チェーンソー講習のための費用補助を検討する④三脚を扱う業者にチェーン購入を打診など対応しています。作業時の安全対策や熱中症対策は、皆さん十分に拝領されました。今後も油断宅継続されるようお願いします。

シルバー人材センターでは近年、構成メンバーの高齢化が進んでいます。高齢者は年齢が進むにつれて体力をはじめ注意力、判断力が徐々に低下するのが一般的といわれます。その結果、事故の発生リスク上昇につながります。こうしたことを踏まえて、委員会では対策を構築して無事故へ向けた運動を進めます。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

※チェーンソー講習費用は高額なため、一人1万円を補助することで9月理事会で承認されました。尚、不平等にならないよう既に講習終了した会員にも適応します。(事務局)



草刈りチーム

剪定チーム

トクホンチーム

「コンプライアンス」知ってますか？

「コンプライアンス」とは「法令遵守」と訳されます。法律を守る？ 当たり前の言葉ですが、食品偽装や排ガスデータ偽装など大企業でも違反行為により社会的な大ダメージを受けたことはご存じの通りです。当センターも過去に会員による「チョットした気の緩み」から役場や発注先を巻き込む大事件に発展したことがあります。

社会の目は常に好意的でなく、過去の事件も通報され事件化しました。「この程度」と言う気の緩みが個人はもとより組織さえ社会的信頼を失墜させます。難しくはありません。決まり事はしっかり守る。これだけです。

剪定作業などの「落下・転倒の危険な場所」では必ず保護帽（ヘルメット）を被ってくださいね。約束だよ！



刈払機の作業時は、必ず飛び石対策（防護ネットなどの使用）をしてね。約束だよ！